



仲間と出会い、学びあい、つながるための三多摩交流集会

公民館が地域を豊かにする

～国立市の実践から学ぶ～

この20年、全国の公民館の総数は徐々に減少しています。自治体行政を経営理論でのみ語ろうとする世論の高まりにより、住民の学習を保障すべき公民館に「受益者負担論」を当てはめ、公民館の改修時期などにあわせて施設を廃止し、「金のとれる」新たな施設につくり変えようとする行政の姿勢がみられます。

多摩地域でもこうした状況は以前からあって、すでに多くの自治体で公民館が廃止され、またかろうじて公民館を残す自治体でも有料化の話が持ち上がっています。

一方、多摩地域には全国にも誇れる実践を続ける公民館があります。その代表が国立市公民館です。『月刊社会教育』2022年5月号では、細山俊男さん（社会教育・生涯学習研究所）が、公民館における市民の学習がまちづくりに寄与してきたことを前提に、国立市が無料・無差別の原則を堅持していること、サークル活動の自由と自治を保障し続けていることを挙げて、そのあり方を高く評価しています。

今回は、国立市公民館の実践を通して、あらためて公民館の存在意義を確認し、ご参加の皆さんの地域の実態を考える機会にしたいと思います。

日時：6月11日(土) 午後1時30分から

会場：国分寺労政会館

国分寺市南町3-22-10（国分寺駅南口から徒歩5分）

お話しいただく方々：五十音順

井口啓太郎さん(職員) 幸島 裕子さん(公運審委員)

田島すみ子さん(元職員 市民) 富田 和枝さん(市民)

※休憩時間に国立市公民館開館60周年記念映像『人がつながる 世界がつながる くにたち公民館』(6分18秒)を上映します。

申込み：コロナ対策のため、原則事前申込みとします。

※参加に際してマスク着用。当日体調不良の場合は参加を見合わせてください。

定員：20人

申込み先 松田 090-8317-4237

当日午前中は同会場で三多摩支部の総会を行います。会員の方はこちらにもご参加を！

